

授業科目名	生活科指導法 (2100243)		
時間割名	生活科指導法 (21109)		
時間割担当	善野八千子		
実施期	後期	単位数	2 必修
曜日・時限	火・1		

### ■授業の目標・概要

小学校生活科教育に関する理論的な基礎知識とその実践的展開力を養うことを主な目的とする。まず生活科教育の歴史と変遷について学び、学習指導要領に示された生活科教育の内容と方法を正しく理解することができるようにする。さらに、授業展開事例を具体的に学び、教材開発と教材研究に取り組む。最終的には自ら学習指導案を作成し、模擬授業を行うことによって実践力を高め、授業づくりについての自分の考えをまとめられるようにする。

### ■学習の到達目標

①生活科教育の意義と役割、②目標と内容、③学習指導計画・教材研究・指導方法と評価の基本について認識を深める。さらに、幼児教育との接続などについて指導法の理解を深め、学習指導計画を立てて模擬授業をするなど実践的力をつける。

### ■授業方法・形式

1. 学習指導要領と関連して内容項目を要約し、必要に応じてテーマに関するダイアログを行う。
2. 具体的指導について教材開発や指導事例を参照し、実践的に調べる。
3. 教育課題に現代の子どもの実態に関連して、広く学んでいく。

### ■授業計画

- 第1回 生活科創設の経緯 生活科創設の経緯について理解し、意義について学ぶ。
- 第2回 学習指導要領に基づいた生活科の目標  
学習指導要領に基づいた目標について理解し、学習指導計画の作成上の配慮事項について学ぶ。
- 第3回 生活科の内容項目 生活科の内容項目を理解し、学習指導要領のポイントについて学ぶ。
- 第4回 生活科のカリキュラム カリキュラムの特性について理解し、作成方法や工夫について学ぶ。
- 第5回 生活科の単元構成  
生活科の単元構成について、確かな力を育成するための工夫について学ぶ。(年間計画)
- 第6回 生活科の授業構成  
生活科の授業構成について、確かな力を育成するための工夫について学ぶ。(内容項目)
- 第7回 生活科授業の実際  
生活科授業の実際について、確かな力を育成するための工夫について学ぶ。(他教科との連携)
- 第8回 生活科における指導技術  
生活科における指導技術を身に付けるための工夫について学ぶ。
- 第9回 生活科における学習評価  
生活科における学習評価について学び、学習指導過程に即した評価のあり方について学ぶ。
- 第10回 生活科を基軸とした育ちと学びの連続  
幼児教育との相違点及び就学前後の指導について理解し、具体的実践事例から学ぶ。
- 第11回 生活科学習指導案の作成(1)  
生活科学習指導案の作成方法や留意点について学び、指導案を作成する。(本時のみ)
- 第12回 生活科学習指導案の作成(2)  
生活科学習指導案の作成方法や留意点について学び、指導案を作成する。(単元案)
- 第13回 模擬授業演習(1) 作成した学習指導案をもとに模擬授業を行い、自己評価を行う。
- 第14回 模擬授業演習(2) 作成した学習指導案をもとに模擬授業を行い、相互評価を行う。
- 第15回 授業の総括として、これまで身につけたことについてまとめる。

### ■成績評価の基準

毎回のリフレクションカードを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく(30%)。さらに、模擬授業に対する取り組み、学習指導案の作成の緻密さなどを評価する(30%)。さらに、学期末振り返りレポート及び改善指導案において総合的な理解を確認する(40%)。

### ■準備学習・復習及び授

1. テキストを読み、疑問については熟読したり調べたりして解決する。
2. 小学校教科書を読み、教材について認識を深める。
3. 『小学校学習指導要領解説 生活編』を参照し、指導内容を確認し学習指導案作成の際に活用する。

### ■履修上のアドバイス

模擬授業では、様々な体験活動をするので、植物アレルギーなど事前に申し出ること。  
指導案は、各自作成して、添付送信するので、機器の操作ができるようにしておくこと。

## ■教材・教科書

善野八千子、前田洋一「子どもの育ちと学びをつなぐー幼小連携のあり方と接続カリキュラムの作成ー」（MJ-Book 2012）,

\* 文部科学省編『小学校学習指導要領解説 生活編』

\* 小学校 生活科用 教科書 新編 新しい生活 上 下

\* は、1年次履修の「生活の理解」からの継続活用

## ■参考書

小学校教科書, 生活科指導実践集など